

時間望遠鏡

あのころの真駒内って、どんなだったの？



概要

手持ちのスマートフォンやタブレット端末などを、真駒内駅前地区に設定したARゾーンでかざすことにより、現在の景色に、札幌オリンピック当時の景色が重なって見えてくる。オリンピックの解説を見ることも可能。アイスアリーナなど、会場となった地点で端末をかざすと、札幌オリンピックの映像を見ることができる。手持ちの端末が、42年の時間を飛び越える『時間望遠鏡』となる。

提案理由

真駒内には、各所に札幌オリンピックの名残が残っていますが、オリンピックが実際にどのようなものであったのか、その全体像を知る機会が少ないです。この取り組みにより、断片がつながり、『札幌オリンピック』という、ひとつの物語を、街から読み取ることができるようなになればと思っています。

期待される効果

- ・真駒内の高齢層と若年層とが共通の記憶を持つことにより、住民間のコミュニケーションが生まれ、今後のまちづくりにつながる基礎意識ができる
- ・徒歩散策への誘導、川添地区(車中心社会)との差別化
- ・高度成長期当時の都市設計に込められた意図を知り、当時の人のキラキラした未来への希望から、元気をもらおう。街への愛着につながる